

まさか、自分が、、、

鳥取県鳥取大学附属中学校 2年 平野 翔太郎



春休み、僕は自転車の盗難に遭った。いつもの友達といつもの場所で遊び、いつものように帰る時、そこにあるはずの僕の自転車が突然消えていた。「え、マジ？」何が起こったのか初めは理解ができず、盗難に遭ったという現実を受け入れるのに数分かかった。

まさか自分の自転車がという思いと、鍵をかけていなかった自分を深く反省した。

その後すぐに警察を呼び、盗難届を出し、その時の状況、自転車の状態などを詳しく聞かれ、現場の写真を撮られ帰宅した。寒い中ずっと待っていてくれた友達、仕事場からかけつけてくれた母に申し訳ない気持ちでいっぱいだった。帰宅後も、盗難届の作成ということで警察の方が家に来られ、再び1時間近く話を聞かれた。警察の方は、周辺の防犯カメラなど全部調べ、また見回りも強化して、自転車を捜しますと言ってくれました。とても心強く、ありがたかった。

僕はこの盗難の件で二つの事に気づかされた。

一つ目は、僕達の普段の何気ない生活は、実はいろいろな人に支えられ、守られ、この生活が成り立っていることだ。当たり前を毎日安全に過ごせるという裏側に、いろいろな職業の多くの人々の存在があるということに、改めて感謝した。

二つ目は、僕も社会の一員として、自覚を持って毎日を過ごしていきたいということだ。今回のことでは、自分が鍵をかけていなかったということもこの盗難を招いてしまった原因の一つである。そのために多くの人に迷惑をかけてしまい深く反省するとともに、自分自身が防犯意識を高め自分でできることは予防していくことの重要性を改めて強く感じた。

現在、盗難だけでなく世の中にはいろいろな犯罪・事件が起こっている。また、SNS関連の事件は僕達中学生にとって興味もあり身近なことである。自分もインスタグラムのアカウントを持っていて、何事もメリットだけでなく、友達にダイレクトメッセージを送る時も、何も考えずに送るのではなくしっかりと頭を使い、相手を傷つける行動は絶対にしないようにしたいし、情報講演会で教えてもらった、デジタルタトゥーという言葉覚えておきたい。今の時代は、自分の軽はずみな行動が犯罪や事件を招いてしまうことがあるということ肝に銘じ、自分には関連ない、自分には起こるはずがないという決めつける考えは捨てて、常に自分にも起こりうるという危機感を持つことを忘れずに

生活していきたい。

そのために、まずアンテナを高くして知ることから初めたい。ニュースや新聞など意識して見るようにして、どのような犯罪が起きているのか関心をもつ。そして、決して他人事と思わず、自分ならどうするか、どのようにしたら防げたかなど考えていきたい。